### 不正接続検知/排除システム

### IntraGuardian2

# 一元管理ソフト

# IntraGuardian2 Manager

スタートアップガイド

第5版 version 2.0.6用 2010/03/10

日本シー・エー・ディー株式会社

## はじめに

このたびは、不正接続検知/排除システム IntraGuardian2(「本製品」)をお買い上げ、 ならびに本製品に関する所定のユーザー登録をいただき、誠にありがとうございます。 IntraGuardian2 Manager は、本製品の一元管理用ソフトウェア(「本ソフトウェ ア」)で、ユーザー登録済のお客様に、本製品の一元管理専用ソフトとして無償でご提供 するものです。

本ソフトウェアをご利用の前に、本ガイドをご覧になり、正しくお使いください。

本ガイドはダウンロード後は印刷等をして保存されることをお薦めします。

本ソフトウェアをご使用になるには、Windows Server 2003 又はWindows XP Professional が必要です。

#### ご注意

・本ガイドの内容の一部でも無断転載することは禁止されております。

・本ガイドの内容は、将来予告なく変更することがございます。

### 目次

	お願	いとご注意	4
	知的	財産権等	4
	免責	事項について	4
	ソフ	トウェア無償使用許諾契約	5
1	本	ソフトウェアについて	6
	1.1	本ソフトウェアの機能	6
2	イ	ンストール	7
	2.1	llSのセットアップ	7
	2.2	ファイルの展開	
	2.3	本ソフトウェアのセットアップ	14
3	管	理画面へログイン	18
	3.1	Webブラウザの起動	
	3.2	Manager PCのIPアドレスを入力	
4	X	ニュー項目	20
5	In	traGuardian2 の登録	21
6	In	traGuardian2一覧	22
	6.1	IntraGuardian2一覧の文字色	
	6.2	各欄の説明	
7	全	登録済みPC一覧	24
	7.1	PCの新規登録	
	7.2	登録済みPCの編集	
	7.3	登録済みPCの削除	
8	全	不正接続PC一覧	29

	8.1	PCの登録	29
	8.2	保留時間設定	29
	8.3	PCの一括登録	30
9	全	検知履歴	31
	9.1	PCの登録	32
	9.2	PCの一括登録	32
1(	0 F	PC移動履歴	33
1	1 h	ntraGuardian2 の設定	35
	11.1	1	35
	11.2	2 特殊な設定	36
12	2 7	ファームウェア更新	37
1	3 /	バックアップ/復元	38
14	4 N	Manager設定	40
	14.1	1 生存確認	40
	14.2	2 通知設定	40
	14.3	3 その他の設定	41
1	51	パスワード設定	43
1 (	6 [	ログアウト	44
1	ל 7	アップグレードとアンインストール	45
	17.1	1 旧 Managerのアンインストール	45
	17.3	3 新 Manger のインストール	47

### お願いとご注意

- ・本ソフトウェアの無断複製・解析は禁止されております。
- ・本ソフトウェアに使用されている意匠、商標の無断使用は禁止されております。
- ・本ソフトウェアの転用は禁止されております。
- ・本ソフトウェアは日本国内の使用を前提として設計・開発・製造されていますので、
   海外では使用しないください。
- ・本ソフトウェアは、一般的な情報通信回線用途として設計・製造されています。従って、生命、財産に著しく影響を及ぼすため高信頼性を要求される、制御・監視等のシステム(原子力発電設備、医療設備等の動作を制御または監視するシステム等)の用途では使用しないください。

#### 知的財産権等

- ・IntraGuardian は日本シー・エー・ディー株式会社の商標です。
- ・本製品に搭載されている不正接続検知/排除ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権は、日本シー・エー・ディー株式会社が所有するものです。

### 免責事項について

- ・本ソフトウェアは現状有姿で提供され、本ソフトウェアに関しては、その品質および
   性能に関する保証を含め、いかなる明示または黙示の保証もありません。
- ・本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる一切の損害(情報内容の変化、情報の喪失、事業利益の喪失、事業の中断、他製品・システムへの損害などを含む)に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・地震、雷、風水害、当社の責に帰さない火災、第三者による行為、その他の事故、お 客様の故意、過失、誤用、その他の異常な条件での使用により生じた損害に関して、 当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・本ガイドの記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・当社指定外の機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作から生じた損害に関し て、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

日本シー・エー・ディー株式会社(以下、「NCAD」といいます)が提供する本製品上のソフトウェ ア(以下、「本ソフトウェア」といいます)には、以下の条件が適用されます。お客様は、本製品を使 用することにより、以下の条件を承諾したものとみなされます。

1. 使用許諾

① 本ソフトウェアは、使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。

- ② お客様には、本製品に組み込まれた形態で本ソフトウェアを使用する非独占的な権利が許諾されます。
- ③ お客様は、本ソフトウェアを改変または複製できません。本ソフトウェアをベースにしたソフト ウェアを作成することもできません。
- 2. 著作権等
  - ① 本ソフトウェアに関するすべての権利は、NCADおよびそのライセンサーが所有しております。
  - ② 本ソフトウェアに関する著作権その他のいかなる知的財産もお客様に譲渡されるものではありません。
  - ③ お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に使用されている著作権表示、商標その他の表示を除 去できません。
- リバースエンジニアリング お客様は、自身でまたは第三者をして、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイ ル、逆アセンブルを行なうことができません。
- 4. サポート契約

本ソフトウェアの更新は、別途締結される本製品のサポート契約で提供されます。

5. 責任の限定

NCAD(そのライセンサーを含む)は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害等 について一切責任を負いません。

6. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、日本の外国為替及び外国貿易法ならびに関係法令(以下、「法令 等」といいます)を順守し、法令等に基づく許可およびNCAD(そのライセンサーを含む)の承認な く、本ソフトウェアを直接または間接的に輸出(海外への持ち出しを含む)しないものとします。

7. ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関するNCADのライセンサーが自己の名義で本契約書に基づき権利を行使で きることを了承します。

8. 管轄裁判所

本ソフトウェア契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

以上

## 1 本ソフトウェアについて

本ソフトウェアは、不正接続検知/排除システム IntraGuardian2 を一元管理するための ソフトウェアです。

本ソフトウェアを利用することにより、複数の IntraGuardian2 を統合されたWebイン タフェース(以下、管理画面といいます)から管理することができます。

#### 1.1 本ソフトウェアの機能

#### 1.1.1 登録済みPCの一括管理

複数の IntraGuardian2 にまたがる登録済みPCを、統合された管理画面で 参照/編集/削 除 することができます。また、新たな登録を行なうこともできます。

#### 1.1.2 不正接続PCの一括参照

各 IntraGuardian2 で発見された 不正接続PC を一括して参照することができます。

#### **1.1.3** 検知履歴の一括参照

各 IntraGuardian2 上の検知履歴を永続的に保存し、一括して参照することができます。

#### 1.1.4 設定の個別管理/一括管理

各 IntraGuardian2 の設定を変更したり、全ての IntraGuardian2 に同じ設定を一括して 適用することができます。また、ファームウェアの一括更新もできます。

#### 1.1.5 IntraGuardian2 の死活監視

ネットワークから切り離されたり、故障した IntraGuardian2 を発見して、自動的に管理 者へメールを送信することができます。これにより管理者はいち早く IntraGuardian2 で 監視されていないネットワークセグメントを把握することができ、迅速な対応を行なうこ とができます。

#### 1.1.6 移動PCの検出

IntraGuardian2 を設置したネットワークセグメント間でPCが移動した事を検出し、移動 履歴を表示します。

## 2 インストール

\* 旧 IntraGuardian2 Manger からのアップグレードを行なう場合は、【17 アップグレードとアンイ ンストール】をお読みください。

### 2.1 IISのセットアップ

本ソフトウェアの動作には、Microsoft IIS が必要です。以下に、Microsoft Windows Server 2003 (R2 Standard Edition)と、Microsoft Windows XP ProfessionalでのIIS のセットアップ例を示します。

#### 2.1.1 Windows Server 2003 のIISのセットアップ

まず、スタートメニューからサーバーの役割管理画面を開き、「役割を追加または削除す る」をクリックします。



「サーバーの構成ウィザード」画面が現れるので、次に進みます。



「構成オプション」画面では、「カスタム構成」を選択してください。

サーバーの構成ウィザード
構成オプション よく使う役割をこのサーバーに追加できます。または、追加または削除する役割を指定してこのサーバーをカスタマイズすることも できます。
次の方法でこのサーバーを構成します:
○ 最初のサーバーの標準構成① 最初のサーバーにく使う注意物も追加することによって、新しんパネットワークのセットアップを簡単にします。このオプションでは Active Directory ティレクトリ サービスをインストールして、このサーバーをドメイン コントローラにします。また DNS サーバーと、必要に応 じて IP アドレスを管理する DHCP サーバーをインストールします。
● カスタム構成(②) このサーバーで実行する役割(ワァイル サーバー、プリント サーバー、アプリケーション サーバーなど)を追加して、このサーバーをカ スタマイズします。また、このオプションを使って既存の役割をサーバーから削除することもできます。
〈 戻る(母) 次へ(型) キャンセル ヘルブ

サーバーの役割として「アプリケーションサーバー (IIS、ASP.NET)」を選択し、次に進みます。

役割を選択してください。構成されていない役割を 削除する役割が一覧に表示されていない場合は、	追加したり、構成されて 【プログラムの追加と削	いる役割を削除したりすることができます。追加または 塗」を削いてください。 マブリレーション・サービー(MS ASP MET)
ファイルサーバー ファイルサーバー アブガーンコンサーバー (US, ASP.NET) マーガサーバー (DCP2, SMTP) ターミナルサーバー リモートアクセス / VPN サーバー リモートアクセス / VPN サーバー SMS サーバー DHCP サーバー DHCP サーバー DHCP サーバー	1000元 いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いい	アプリケーション サーバーは、XML Web サービス、 Web アプリケーション、および配本カアフリケーションを構築、展開、操作するのに必要なファテ うりこうを提供します。アフリケーション サーバー のテクリロジには、ASP NET、COM・インターネ ットインフォメーション サービス USS が含まれま す。 アプリケーション サーバーの詳細を表示します

アプリケーションサーバーのオプション画面では、「ASP.NETの有効化」にチェック マークをつけます。

サーバーの構成ウィザード
アプリケーション サーバーのオブション IIS、COM+、ASP.NET、Microsoft .NET Framework がこの役割に自動的にインストールされます。
このサーバーにインストールする追加ツールを選択してください。
□ FrontPage サーバー拡張( <u>F</u> )
FrontPage サーバー拡張は、FrontPage、Visual Studio、Web フォルダで内容を公開するために使うことができる Web サーバー拡張のセットです。これを選択することによりインデックス サービスも有効になります。
■ ASPNET の有効化化 ASPNET (引張力なプログラング フレームワークです。どのようなブラウザまたはデバイスでも対象とすることができる Web ペースのアプリケーションやサービスを構築できます。
< 戻る(B) 次へ(W) > キャンセル ヘルブ

選択内容を確認し、次へ進みます。

資択内容の概要 選択したオブションが表示されているので確認してく	だい。			
概要(S): インターネット インフォメーション サービス (OS) をイ	ンストールします。			
リモートトランサクションのだめの COM+ を有効にし リモート アクセスのための Microsoft 分散トランザ・ ASP.NET を有効にします。	,よ9。 りション コーディネータ(	DTC) を有効にします。		
 選択内容を変更するには、 [戻る] をクリックしてくだ	さい。この役割のセットフ	ップを続行する(こは、[)欠へ] す	シリックしてください。	
	< 戻る(B) 🔇	<b>≭</b> ₽	ンセル へJ	ルプ

インストール作業が始まりますので、指示に従ってインストールCDを入れる等の操作を 行なってください。インストールが終わると、次のような画面になります。



[完了] ボタンをクリックしてアプリケーションサーバーのインストールを完了してください。

#### 2.1.2 XP Professional のIISのセットアップ

[スタートメニュー] からコントロールパネルを起動します。

Administrator	
<ul> <li>         インターネット Internet Explorer      <li>         ですメール         Microsoft Outlook     </li> </li></ul>	<ul> <li>◇ マイドキュメント</li> <li>◇ 最近使ったファイル(①)</li> <li>◇ マイビクチャ</li> <li>◇ マイミュージック</li> <li>◇ マイミュージック</li> <li>◇ マイニンピュータ</li> <li>◇ マイネットワーク</li> <li>◇ フレトロールパネル(②)</li> <li>◇ プログラムのアクセスと既定の設定</li> <li>◇ 接続(①)</li> <li>&gt; さいいたしこの</li> </ul>
<u></u> すべてወታ□ጛጛፚ(₽) ▶	<ul> <li>ブリンタと FAX</li> <li>検索⑤</li> <li>ファイル名を指定して実行(R)</li> <li>操作マニュアル</li> </ul>

コントロールパネルのウィンドウが開いたら、[プログラムの追加と削除]を押下します。



「プログラムの追加と削除」ウィンドウが開くので、[Windowsコンポーネントの追加と 削除(A)] をクリックします。



「Windows コンポーネントウィザード」ウィンドウが開くので、[インターネット イン フォメーション サービス(IIS)] にチェックを入れてから、[次へ(N)>] ボタンをクリックし ます。

Windows ソンボーネントを追加または肖『除さきます。         Windows XP のコンボーネントを追加または肖『除するコンボーネントを遅んでください。影付きのチェック ホックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを表します。コンボーネントに含まれているもの を表示するには、国幹細 をクリックしてください。         コンボーネントの         コンボーネントの:         マインテックス やりインフォメーション サービス (IDS)         コンボーネントの         コンボーネントの:         マインテックス サービス         ログインテックス サービス         ログインテック         ログインテック         ログインテック         ログレス         ログインテック         ログインテック         ログインテック         ログインテック         ログインテック         ログインク          ログインク      <	Windows コンポーネント ウィザード	X
各チェックボックスをクリックして、追加または判除するコンボーネントを選んでください。影付きのチェック ボックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを表します。コンボーネントに含まれているもの を表示するには、国年細 をクリックしてください。 コンボーネント©: ● ● インケーネット インフォメーション サービス (IIS) 135 MB ● ● ● インデックス サービス (IIS) 135 MB ● ● ● インデックス サービス (IIS) 135 MB ● ■ ③ そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス 00 MB ● ■ ③ そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス 0.0 MB ● ■ ③ そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス 0.3 MB ● ■ ③ ネットワーク サービス 69.8 MB ■ 空をディスク領域の合計: 69.8 MB ■ 空をディスク領域: 49303.8 MB	Windows コンポーネント Windows XP のコンポーネントを追加または肖明余できます。	<b>E</b>
● 注インターネット インフォメーション サービス (IIIS)         135 MB           ● インデックス サービス         0.0 MB           ● ごそのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス         0.0 MB           ● ごそのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス         0.0 MB           ● ごネットワーク サービス         0.3 MB           ● ジェットワーク サービス         0.3 MB           ● ジェット         ● ジェット           ● ジェット         ● ジェット <td>各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するコンボーネントを選んでく ボックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを表します。コンボー を表示するには、ほ詳細」をクリックしてください。 コンボーネント(©):</td> <td>ださい。影付きのチェック ネンドに含まれているもの</td>	各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するコンボーネントを選んでく ボックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを表します。コンボー を表示するには、ほ詳細」をクリックしてください。 コンボーネント(©):	ださい。影付きのチェック ネンドに含まれているもの
C アインデックス サービス     O.0 MB     C コンデックス サービス     O.0 MB     C コンドックファイルと印刷サービス     O.0 MB     C コンドットワーク ファイルと印刷サービス     O.0 MB     C コンドットワーク サービス     S コンド・     S コンド・	🕶 🎦 インターネット インフォメーション サービス (IIS)	13.5 MB 🔼
<ul> <li>□ こそのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス</li> <li>□ こネットワーク サービス</li> <li>□ コネットワーク サービス</li> <li>□ コネットワーク サービス</li> <li>□ 30 MB</li> <li>□ 認知時:</li> <li>Web と FTP、FrontPage、トランザクション、ASP、およびデータベース接続をサポートします。</li> <li>必要なディスク領域の合計:</li> <li>69.8 MB</li> <li>□ 詳細(①)</li> <li>□ 空きディスク領域:</li> <li>49303.8 MB</li> </ul>	ゴンデックス サービス	0.0 MB
<ul> <li>■ シネットワークサービス</li> <li>0.3 MB</li> <li>説明: Web と FTP、FrontPage、トランザクション、ASP、およびデータベース接続をサポートします。</li> <li>必要なディスク領域の合計: 69.8 MB</li> <li>空きディスク領域: 49303.8 MB</li> </ul>	□ 言っそのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス	0.0 MB 📃
説明:         Web と FTP、FrontPage、トランザクション、ASP、およびデータベース接続をサポートします。           必要なディスク領域の合計:         69.8 MB           空きディスク領域:         49303.8 MB	■ 言: ネットワーク サービス	0.3 MB 🧹
必要なディスク領域の合計: 69.8 MB 詳細(D) 空きディスク領域: 49303.8 MB 詳細(D)	説明: Web と FTP、FrontPage、トランザクション、ASP、およびデーます。	-タベース接続をサポートし
空きディスク領域: 49303.8 MB 🔹 🛶 🗤 🕑 …	必要なディスク領域の合計: 69.8 MB	
	空きディスク領域: 49303.8 MB	
< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル	(戻る(日))	次へ(11)> キャンセル

以下の完了ウィンドウが表示されたら、[完了] ボタンをクリックして、ウィザードを終了 させてください。



### 2.2 ファイルの展開

製品サポートサイトよりダウンロードしたファイルを右クリックし、表示されたメニューから [すべて展開(A)] をクリックします。



展開ウィザード が開始するので、[次へ(<u>N</u>)>] ボタンをクリックします。



<b>展開先の選択</b> ZIP アーカイブの中のフ	アイルは選択した場所に展開されます。
	ファイル展開先フォルダを選択してください。 ファイルを下のディレクトリに展開する( <u>D</u> ): Administrator¥デスクトップ¥IntraGuardian2_Manager_2.0.C 参照(R) パスワード(P)
	展開中
	< 戻る(B) 次へ(20)> キャンセル

ファイルの展開先を選択する画面が表示されますが、特に変更する必要はありません。そのまま [次へ(N)>] ボタンをクリックします。

<b>展開の完了</b> ファイルは正常に ZIF	マーカイブから展開されました。
	ファイルは下のディレクトリに正しく展開されました。 展開先: C:¥Documents¥IntraGuardian2_Manager_2.0.0 展開されたファイルを表示するにはチェック ボックスをオンにして ください: IZ 展開されたファイルを表示する(山)) 続行するには、「完了」 をクリックしてください。
	< 戻る(日) 完丁 キャンセル

[完了] ボタンをクリックすると、新しいウィンドウにファイルー式が表示され、展開作業 は完了となります。

dotnetfx
IntraGuardianManager.msi Windows インストーラ パッケージ 777 KB
説明: Setup ファイル バージョン: 80.50727.42 (作成日時: 2009/07/24 18:52 サイズ: 417 KB

### 2.3 本ソフトウェアのセットアップ

【2.2 ファイルの展開】により得られた本ソフトウェアのインストーラを使ってセット アップを行ないます。



上記の図中のフォルダ内の setup という名前のアイコンをダブルクリックします。

#### 2.3.1 Microsoft .NET Framework 2.0 のセットアップ

Microsoft .NET Framework 2.0 がコンピュータにインストールされていない場合は、 Microsoft .NET Framework 2.0 のセットアップ画面が表示されます。以下の手順に 従ってセットアップを行なってください。

インストールするコンポーネント		
.NET Framework 2.0		
, 次の使用許諾契約をお読みください。PageDown キーを使ってスクロールしてください。		
マイクロソフト ソフトウェア追加使用許諾契約書 MICROSOFT .NET FRAMEWORK 2.0 FOR MICROSOFT WINDOWS		
MICROSOFT WINDOWS INSTALLER 3.1 マイカロンコト(セイナキマンの地球にトレア(キーズクス・クォン)(キー大きたい・コトウィアのう		
イセンスをお客様に供与します。Microsoft Windows オペレーティング システム ソフ イセンスをお客様に供与します。Microsoft Windows オペレーティング システム ソフ		
ている場合は、本道加ソフトウェアも使用できます。対象ソフトウェアのライセンスを取 🚽		
印刷用の使用許諾契約書 (EULA) を表示する		
使用許諾契約書に同意しますか?		
「同意しない」を選ぶとインストールを中止します。インストールするには、この契約に同意 してください。		
同意する(A) (同意しない(D))		

使用許諾契約書を読み [同意する(A)] をクリックします。 しばらくすると、本ソフトウェアのセットアップウィザードが表示されます。

#### 2.3.2 本ソフトウェアセットアップウィザード

本ソフトウェアのセットアップウィザードが表示されたら、以下の手順でセットアップを 完了させます。

IntraGuardian2 Manager セットアップ ウィザードへよう こそ
インストーラは IntraGuardian2 Managerをインストールするために必要な手順を示します。
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部 または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご 注意ください。
< (戻る(B) (次へ(M))>

[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

🖥 IntraGuardian2 Manager 👘						
使用許諾契約書						
使用許諾契約書をお読みください。以下の条件に同意される場合は[同意する]をクリックして から[次へ]をクリックしてください。その他の場合は[キャンセル]をクリックしてください。						
IntraGuardian2ManagerのWEBダウンロード用 ソフトウェア無償使用許諾契約						
IntraGuardian 2 Manager(以下、「本ソフトウェア」といいま す)は、不正接続検知/排除システムIntraGuardian 2(以下、「本 製品」といいます)用の一元管理ソフトウェアです。また、 IntraGuardianは、日本シー・エー・ディー株式会社(以下、「日本 CAD」といいます)の商標です。 本ソフトウェアは、お買いたぜいた本拠品に関する所定の						
○ 同意しない( <u>D</u> )	<ul> <li>同意する(<u>A</u>)</li> </ul>					
	キャンセル < 戻る(B)	次へND>				

使用許諾書を読み、[同意する(A)]をクリックし、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



[次へ(Ŋ)>] ボタンをクリックします。



インストールの途中にコマンドプロンプトが 2回表示されますが、そのままお待ちくださ い。



インストール完了のウィンドウが表示されたら、[閉じる(<u>C</u>)]ボタンをクリックし、セット アップウィザードを完了させてください。

IntraGuardian2 Managerのインストールが完了した後、一度 Windows Update (Microsoft Update)を用いて、.NET Framework が最新の状態になっていることを確認 してください。

\* 「.NET Version 2.0 ~ 3.5 用 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 および .NET Framework 3.5 ファミリ更新プログラム」が適用されていないと、IntraGuardian2 Managerは正し く動作しません。Windows Updateは、.NET アプリケーションが一つも入っていない場合、このサー ビスパックを自動的に適用しない事があります。このため、IntraGuardian2 Manager のインストー ルが終わった後に Windows Update で確認する必要があります。

その後、一度Windowsを再起動してください。

 \* IISのインストールの手順によって は、ASP.Net v2.0の使用が自動で 許可にならないことがあります。こ の場合、アプリケーションサーバー の管理画面を使って、許可状態にし てください。



### 3 管理画面ヘログイン

#### 3.1 Webブラウザの起動

管理画面にアクセスするためにWebブラウザ(以下、ブラウザ)を起動します。本ソフト ウェアをインストールしたPCのブラウザでも、本ソフトウェアとLANで繋がっている他 のPCのブラウザでも構いません。

ここでは、Microsoft Internet Explorer(以下、IE)を例に解説します。まず、 デスクトップに表示されているIEのアイコンをダブルクリックして、起動しま す。



### 3.2 Manager PCのIPアドレスを入力

ブラウザのアドレス欄に以下のアドレスを入力して、本ソフトウェアにアクセスします。 \* nnn.nnn.nnn は、本ソフトウェアをインストールしたPCの IPアドレスと読み替えてください。

アドレス	http://nnn.nnn.nnn.nnn/igm/
------	-----------------------------

「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、[ログイン] ボタンをクリックし管理画面に ログインします。

IntraGuardian2 Manager (v2.0.0)					
管理画面にログインします					
ユーザー名					
パスワード					
ログイン					
Copyright © 2008-2009 Nippon C.A.D. Co.,Ltd.					

ユーザー名とパスワードは、初期状態では以下の通りに設定されています。

ユーザー名	admin
パスワード	admin

なお、以下のユーザー名とパスワードでログインすると、設定などの変更が一切できな い、閲覧のみの状態の画面になります。

ユーザー名	user
パスワード	user

\* 他のPCから上記URLで Manager 管理画面にアクセスしたときに「このページは表示できません」の ようなメッセージが出る場合には、Manager をインストールしたPCのファイアーウォールの設定を確 認し、80番ポートが受信許可されている事を確認してください。

#### Windows Server 2003 で、80番ポートの受信を許可する設定の仕方:

◆加加のいち アイアクォール     全般     例外     詳細設定     入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、     Windows アイアウォールでブロックされています。例外として活動することにより、プログラムによって     は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。     プログラムおよびサービス(P):     名前     マービーレー     マービーレー	コントロールパネルの「Windows ファイアー ウォール」を開き、「例外」の [ポートの追加] ボタンをクリックします。
<ul> <li>☑ Configure Your Server Wizard</li> <li>☑ Microsoft Management Console</li> <li>□ Uhr フレームワーク</li> <li>□ ファイルとプリンタの共有</li> <li>□ リモート デスクトック</li> </ul>	
プログラムの3自加(型) 編集(型) 編集(型) 副隊(型) ✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時行に通知を表示する(N) OK キャンセル	
ポートの追加 これらの設定を使って、Windows ファイアウォールでポートを聞いてください、ポート番号およびプロトコルについては、使用するプログラムまたはサービスのドキュメントを参照してください。	左図のように記入し、[OK] ボタンをクリック します。
名前(W: <sup>IIS</sup> ポート番号(P): <sup>[30</sup> で TCP(II) で UDP(W)	
スコープの変更(Q) OK キャンセル	

## 4 メニュー項目

管理画面の左側には常にメニューが表示されます。

不正接続検知
<u>全登録済みPC一覧</u>
全不正接続PC一覧
全検知履歴
<u>PC移動履歴</u>
IntraGuardian2 管理
IntraGuardian2 一覧
<u>ファームウェア更新</u>
<u>バックアップ/復元</u>
システム
<u>Manager設定</u>
<u>パスワード設定</u>
<u>操作ガイド</u>
<u>ログアウト</u>

他の画面に切り替えたい場合には、このメニュー上の文字をクリックしてください。

## 5 IntraGuardian2 の登録

管理する IntraGuardian2 を登録します。

メニューから[IntraGuardian2一覧] をクリックすると、「IntraGuardian2一覧」の画面 が表示されます。これから管理する IntraGuardian2 を登録するために、[新規登録] ボタ ンをクリックしてください。

IntraGuardian2 一覧 [0件]					
登録されている IntraGuardian2 はありません 新規登録					

ボタンクリック後「IntraGuardian2登録」画面が表示されます。必要項目を入力し、[確 定] ボタンをクリックしてください。

IntraGuardian2 登録						
IntraGuardian2 の登録を行います。 下の各項目に入力後、確定ボタンを押してください。						
名称		I				
IPアドレス		I				
確定	戻る					

名称	各 IntraGuardian2 を識別するための名前 '(シングルクォート)と,(カンマ)以外の任意の文字を使用できま す。
IPアドレス	対象 IntraGuardian2 の IPアドレス

## 6 IntraGuardian2一覧

IntraGuardian2 が登録されると、「IntraGuardian2一覧」画面に「名称」及び「IPアドレス」が赤文字で表示されます。

選 択	名称	IPアドレス	状態	動作モード	DB保存場所	操作
	IT事業部	192.168.0.1				設定編集

しばらく時間をおいてから再度「IntraGuardian2一覧」画面を開くか、何らかの設定を 行なうと、IntraGuardian2 との通信が成功し、赤文字から緑文字に変化します。

選択	名称	IPアドレス	状態	動作モード	DB保存場所	操作
Θ	IT事業部	192.168.0.1	Running	保留+排除	IG2 本体	設定編集

### 6.1 IntraGuardian2一覧の文字色

赤文字	IntraGuardian2 を登録したばかりで一度も通信を行なっていな い状態。または、IntraGuardian2 の生存確認に失敗した状態。
緑文字	IntraGuardian2 が正常に動作している状態。
桃色文字	IntraGuardian2 がファームウェアアップデートを行なっている 状態。

\* 登録した IntraGuardian2 が「IntraGuardian2 Managerを使用する」設定になっていない場合、通信 ができないため、いつまでも赤文字のままになります。「IntraGuardian2 Managerを使用する」設定 の変更は、IntraGuardian2 本体のユーザーインタフェース画面で変更します。詳しくは IntraGuardian2 のスタートアップガイドをご覧下さい。

### 6.2 各欄の説明

名称	各 IntraGuardian2 を識別するための名前
IPアドレス	対象 IntraGuardian2 の IPアドレス
状態	IntraGuardian2 の状態 NG : 異常動作、もしくは通信不可能 Running : 正常動作 Updating: ファームウェアアップデート中

動作モード	IntraGuardian2 の動作モード 検知 / 排除 / 保留+排除 (IntraGuardian2 本体のユーザーインタフェースで「保留」と 記述されているモードは、Manager画面では「保留+排除」と表 記されています。)
DB保存場所	登録済みPC情報の保存場所 IntraGuardian2 本体 / IntraGuardian2 Manager
操作	[設定] ボタン : 個別の IntraGuardian2 の設定を変更する画面に 移ります。 [編集] ボタン : IntraGuardian2 の名称や IPアドレスを変更する 画面に移ります。

## 7 全登録済みPC一覧

メニューから [全登録済みPC一覧] をクリックすると、全ての IntraGuardian2 に登録さ れているPCの一覧を参照することができます。また、登録済みPCの編集や削除もできま す。

新規	登録 日 「IntraGua 「 MACフ	rdian2名称 🔹 が パレスが同じ登録をまと	とめて表示する	を含む(検索)	(1)7)	CSV出力
<u>IG2</u>	<u>MACアドレス</u> ペンダー	<u>名称</u>	<u>IPアドレス</u> (登録アドレス)	<u>コンピュータ名</u> ワークグループ	<u>確認日時▲</u> (登錄日時)	操作
全て	00:11:0C:00:00:00 <atmark techno=""></atmark>	業務サーバー	<b>192.168.0.50</b> (192.168.0.50)	DB-SERVER WORKGROUP	12/08 11:27:00 (2009/11/18 17:01:20)	編集創除
全て	00:A0:DE:00:00 <yamaha></yamaha>	IT事業部ルーター	192.168.0.2 (192.168.0.2)		12/08 11:26:39 (2009/11/18 18:21:55)	編集 削除
全て	00:0B:97:00:00:00 <matsushita electric=""></matsushita>	山田花子モパイル	192.168.0.10 ()	TYAMADA_MOBILE WORKGROUP	12/08 11:26:29 (2009/11/18 18:21:02)	編集創除
全て	00:14:5E:00:00:00 <ibm></ibm>	山田太郎デスクトップ	192.168.0.100 ()	TYAMADA_DESKTOP WORKGROUP	12/08 11:25:48 (2009/11/18 18:14:11)	編集 削除

原則として、PCの登録は IntraGuardian2 毎に行なわれているという点に注意してくだ さい。同じPCが2台の IntraGuardian2 に登録されている場合、登録件数は2件としてカ ウントされます。

初期状態では複数の IntraGuardian2 に登録されているPCは1行にまとめて表示され、

「IG2」という欄には、当該PCが登録されている IntraGuardian2 の名前が表示されま す。当該PCが全ての IntraGuardian2 に登録されている場合には、「全て」と表示され ます。

「MACアドレスが同じ登録をまとめて表示する」のチェックボックスを外すと、複数の IntraGuardian2 に登録されているPCを1行にまとめて表示するのをやめ、それぞれ別の 行として表示するようになります。

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリック すると、その条件に合致した登録PCだけが表示されます。

表のタイトル欄の「IG2」「MACアドレス」「名称」「IPアドレス」「コンピュータ名」 「ワークグループ」「確認日時」の各文字をクリックすると、その項目でソートして表示 をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」(降順)「▼」(昇順)の記号 が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順と降順を切り替 えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示 制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

\* 「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワークグループ」の各欄は、IntraGuardian2 が検知した最新の 情報を表示します。このため、当該PCが登録後に IntraGuardian2 で監視しているネットワーク内で 一度も使われていない場合や、過去90日以上使われていない場合、または使われたとしても情報を取得 することができない場合には、これらの欄は空欄(または「-----」)になります。

- \* 後述する Manager設定において、端末登録モードを「一括登録」にした際には、PCの登録情報は全て の IntraGuardian2 で同一となり、登録件数も1件としてカウントされます。このため、「MACアドレ スが同じ登録をまとめて表示する」のチェックボックスは表示されません。
- \* また、上記画面の「IG2」の欄は、PC登録時にそのPCを検知していた IntraGuardian2 の名称を表示 します。すなわち、登録後にPCを別の場所に移動して使っている場合には、IG2欄に表示されるのは 「現在そのPCを検知しているIntraGuardian2 名」ではないということに注意してください。
- \* 端末登録モードについては、【14.3 Manager設定 その他の設定】をご覧下さい。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウ ザにダウンロードすることができます。この際、「MACアドレスが同じ情報をまとめて 表示する」と、表示行数制限は無視されます。

#### 7.1 PCの新規登録

全登録済みPC一覧画面で [新規登録] ボタンをクリックすると、PC登録画面が表示され ます。各項目に入力して [確定] ボタンをクリックすることでPCを新規登録することがで きます。

PC登録	
PCの登録を行ないます。	
下の各項目に入力後、確定ボタンを押してください。	
名称	
MACアドレス	
IPアドレス	
■PC移動監視の対象としない	
対象 IntraGuardian2 全選択 選択解除	
□ 総務 □ 技術1課 □ 技術2課 □ 営業1課 □ IT事業部	
確定 戻る	
	_

名称	各 PC を識別するための名前 ,(カンマ)以外の任意の文字で、32バイト以内
MACアドレス	対象とする PC のMACアドレス
IPアドレス	対象とする PC のIPアドレス
PC移動監視の対象とし ない	登録PCが別の場所で使われた場合にメール通知する機能を 用いる場合、このPCをその例外とすることを指示します。 * 詳しくは【10 PC移動履歴】をご覧下さい。
対象IntraGuardian2	登録先の IntraGuardian2 IntraGuardian2 の名称がリストアップされるので、左側の チェックボックスにチェックを入れて選択します

- \* 名称は、内部ではUTF-8コードで管理されています。このため、英数字のみを用いるとおおむね32文 字まで、日本語のみを用いるとおおむね10文字まで登録できます。
- \* IPアドレス欄は、登録時と異なるIPアドレスのPCを検出する機能を用いるときに参照されます。この機能を用いない場合(初期状態)は、IPアドレス欄は入力しても空欄でも構いません。
- \* 後述する Manager設定において、端末登録モードを「一括登録」にした際には、PCの登録情報は全ての IntraGuardian2 で同一となるため、「対象IntraGuardian2」の欄は表示されません。

なお、PCの登録は、後述する全不正PC一覧画面からこの画面を呼び出して行なうことも できます。全不正PC一覧画面からPC登録画面を呼び出すと、MACアドレスやIPアドレス 欄などがはじめから入力された状態になっていますので、登録が簡単です。

#### 7.2 登録済みPCの編集

全登録済みPC一覧画面で、登録されている PC の操作欄にある [編集] ボタンをクリック すると、登録情報の編集を行なうことができます。その際、既にチェックが入っている 「対象IntraGuardian2」からチェックを外した場合は、その IntraGuardian2 からは削 除されます。また、チェックが入っていない「対象IntraGuardian2」にチェックを入れ た場合は、その IntraGuardian2 に新たな PC として、新規登録されます。

PC情報編集         PC情報編集を行ないます。         PC情報編集を行ないます。         下の毎項目に入力後、確定ポタンを押してください。	IT事業部	00:11:0C:00:00:00 <atmark techno=""> 業務サーバー</atmark>	<b>192.168.0.50</b> (192.168.0.50)	DB-SERVER WORKGROUP	<b>12/08 11:27:00</b> (2009/11/18 17:01:20)	編集 削除
	PC情報 下の名 MAC IP: PC IP: 文象 一 次象 一 微総	祝編集 級の編集を行ないます。 -項目に入力後、確定ボタンを押してください。 名称 業務サーバー :アドレス 00:11:0C:00:00:00 Pドレス 192:168.0.50 多動監視の対象としない IntraGuardian2 全選択 選択解除 務 □技術1課 □技術2課 □営業1課 ☑ IT事業部 課  反る	この# らかし 入しなた 変ださい	扁集ボタンから呼 じめ「名称」「M く」「対象 IntraC ています。(登録 いった場合はIPア ) する必要がある場 い。	び出される画 ACアドレス」 Guardian2」( 時にIPアドレ ドレス欄は空 合には、書き	面はあ 「IPア の情報が スを指定 欄になり 変えてく

PC情報編集	、 「IT事業部」からチェックを外して、「総 務、にチェックを入れてから「確定」ボタン
PC情報の編集を行ないます。 PC情報の編集を行ないます。 下の各項目に入力後、確定ボタンを押してください。 <u>名称 業務サーバー</u> MACアドレス 00:11:0C:00:00:00 IPアドレス 192.168.0.50 PC移動監視の対象としない 対象 IntraGuardian2 全選択 選択解除 ✓ 総務 □ 技術1課 □ 技術2課 □ 営業1課 □ IT事業部 確定 戻る	務」にチェックを入れてから [確定] ホタン を押すと、IT事業部の IntraGuardian2 から は MACアドレスが 00:11:0C:00:00:00 の PC は削除され、総務の IntraGuardian2 に は新たに同 MACアドレスの PC が登録され ます。

### 7.3 登録済みPCの削除

全登録済みPC一覧画面で、登録されている PC の操作欄にある [削除] ボタンをクリック すると、登録情報の削除ができます。



## 8 全不正接続PC一覧

メニューから [全不正接続PC一覧] をクリックすると、全ての IntraGuardian2 が検知/ 排除中の不正接続PCの一覧が表示されます。また、この画面からも PC の登録や一括登 録ができます。

保留中になっているPCについては、状態欄に残りの保留時間が表示されますが、この時間は本画面を再表示するまで更新されません。

IntraGuardi	ian2名称 🗘 が		を含む(検索	(1)7)			CSV出力
<u>IG2</u>	<u>MACアドレス</u>	<u>IPアドレス</u>	コンピュータ名 ワークグループ	<u>検知日時</u>	確認日時▲	状態	操作
IT事業部	AA:BB:CC:DD:EE:FF <unknown></unknown>	192.168.192.168	DUMMY PC#1	10/26 01:00:00	10/26 02:30:00	排除中	登録

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリック すると、その条件に合致したPCだけが表示されます。

表のタイトル欄の「IG2」「MACアドレス」「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワーク グループ」「検知日時」「確認日時」「状態」の各文字をクリックすると、その項目で ソートして表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」(降順)「▼」 (昇順)の記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順 と降順を切り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示 制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウ ザにダウンロードすることができます。この際、表示行数制限は無視されます。

#### 8.1 PCの登録

登録したい PC の右側に表示されている [登録] ボタンをクリックすると「全登録済みPC 一覧」の登録画面と同じ画面が表示されます。コンピュータ名を取得できた場合は、あら かじめ名称として自動的に入力済みの状態となります。

#### 8.2 保留時間設定

「保留+排除」モードで運用している IntraGuardian2 が検知した PC の場合、 [保留] ボ タンが表示されます。このボタンをクリックすると、保留中のPCの場合には残り保留時 間の変更が、排除中のPCの場合には排除を停止して一定時間保留状態にすることができ ます。

#### 8.3 PCの一括登録

画面に表示されている PC を一括して登録したい場合は [一括登録] ボタンをクリックし てください。コンピュータ名を取得出来た場合は、そのコンピュータ名が名称として自動 的に入力されます。

\* 非常に多数のPCを一括登録しようとすると、うまく登録できない場合があります。通信設備の状態な どにより大きく変わりますが、1000台を越えるような一括登録はあまりお勧めできません。

### 9 全検知履歴

メニューから [全検知履歴] をクリックすると、全ての IntraGuardian2 が検知した不正 接続検知の履歴を参照することができます。 また、この画面からも PC の登録や一括登 録ができます。

検知履歴は定期的に IntraGuardian2 からManagerのハードディスクにコピーされ、保存 されます。過去の大量の検知履歴によって表示などの操作が遅くなることを避けるため、 本画面で表示対象とする履歴の期間を1日~365日の中から選択できるようになっていま す。

また、同じPCが何度も検知された場合には、検知日時や確認日時だけが複数行になって 表示されます。(「MACアドレスが同じ記録をまとめて表示する」のチェックボックス をはずすと、検知毎に別の行として表示させる事ができます。)

全検知履歴	[ 全4件中 4件表示 (3行	表示) ]				
IntraGuardia	n2名称 🔷 が		を含む(検索)(	クリア		
☑ MACアド	レスが同じ記録をまとめ <sup>-</sup>	て表示する		対象期間: ○1	IE <b>0</b> 38 ()78 ()	31日 ()365日 CSV出力
<u>IG2</u>	<u>MACアドレス</u> ペンダー	<u>IPアドレス</u>	<u>コンピュータ名</u> ワークグループ	検知日時	確認日時▲	操作
IT事業部	00:02:C7:00:00:00 <alps electric=""></alps>	192.168.0.70	PC03XV001 WORKGROUP	07/29 18:32:53	07/29 19:55:52	登録
IT事業部	00:0E:35:00:00:00 <intel></intel>	192.168.0.71	PC03XV002 WORKGROUP	07/29 14:02:20	07/29 19:54:09	登録
IT事業部	00:25:00:00:00 <apple></apple>	192.168.0.72		07/29 14:02:18 07/29 13:44:36	07/29 19:41:31 07/29 14:01:02	登録
一括登録			·			

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリック すると、その条件に合致した履歴だけが表示されます。

表のタイトル欄の「IG2」「MACアドレス」「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワーク グループ」「検知日時」「確認日時」の各文字をクリックすると、その項目でソートして 表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」(降順)「▼」(昇順)の 記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順と降順を切 り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示 制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウ ザにダウンロードすることができます。この際、表示行数制限は無視されます。

#### 9.1 PCの登録

登録したいPCの右側に表示されている [登録] ボタンをクリックすると「全登録済みPC 一覧」の登録画面と同じ画面が表示されます。コンピュータ名を取得できた場合は、あら かじめ名称として自動的に入力済みの状態となります。

#### 9.2 PCの一括登録

画面に表示されている PC を一括して登録したい場合は [一括登録] ボタンをクリックし てください。コンピュータ名を取得出来た場合は、そのコンピュータ名が名称として自動 的に入力されます。

\* 非常に多数のPCを一括登録しようとすると、うまく登録できない場合があります。通信設備の状態な どにより大きく変わりますが、1000台を越えるような一括登録はあまりお勧めできません。

## 10 PC移動履歴

メニューから [PC移動履歴] をクリックすると、セグメント間で持ち運ばれたPCがわかり ます。

登録済みのPCのMACアドレスが、ある IntraGuardian2 が監視しているセグメント内で 見つかった後に、他の IntraGuardian2 が管理しているセグメント内で見つかった場合 に、そのPCが移動したと認識されます。(そのため、本機能は IntraGuardian2 本体の 機能ではなく、IntraGuardian2 Manager 固有の機能となっています。)

\* この機能は、Manager設定の「PC移動確認間隔」を 0 以外にしたときにのみ有効です。インストール 直後の状態では、この設定は 0 で、無効になっています。

IntraGuardian24	名称 🔹	が	を含む 🤅	検索(クリア)			
MACアドレスが同じ記録をまとめて表示する   対象期間: ○1日 ●3日 ○7日 ○31日 ○365日   CSV出力   CSVL力   CSVL   C							
移動元	移動先	<u>MACアドレス</u> ベンダー	名称	<u>IPアドレス</u>	コンピュータ名 ワークグループ	確認日時▲	
総務	技術1課	00:1B:63:00:00:00 <apple computer=""></apple>	営業次郎ノート	192.168.10.131	JIRO_NOTE WORKGROUP	10/19 14:10:01	
技術3課 <u>他</u>	技術1課	00:30:13:00:00:00 <nec></nec>	山田太郎作業用	192.168.10.220	YAMADA-01 WORKGROUP	10/19 11:05:35 10/18 08:12:11	
技術3課	営業1課	00:17:F2:00:00:00 <apple computer=""></apple>	田中一郎	192.168.13.4	RTANAKA KOUGA	10/18 17:04:54	

移動履歴は Manager 内のハードディスクに永続的に保存されます。過去の大量の移動履 歴によって表示などの操作が遅くなることを避けるため、本画面で表示対象とする履歴の 期間を1日~365日の中から選択できるようになっています。

同じPCが何度も移動検知された場合には、確認日時だけが複数行になって表示されま す。(「MACアドレスが同じ記録をまとめて表示する」のチェックボックスをはずす と、検知毎に別の行として表示させる事ができます。)

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリック すると、その条件に合致した履歴だけが表示されます。

表のタイトル欄の「移動元」「移動先」「MACアドレス」「名称」「IPアドレス」「コ ンピュータ名」「ワークグループ」「確認日時」の各文字をクリックすると、その項目で ソートして表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」(降順)「▼」

(昇順)の記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順 と降順を切り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示 制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。 [CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウ ザにダウンロードすることができます。この際、「MACアドレスが同じ記録をまとめて 表示する」と表示行数制限は無視されます。

ネットワーク構成の都合などにより、特定のPCが複数の IntraGuardian2 に検知される ということがあります。(VLANを用いた環境などで発生する事があります。)この場 合、その特定PCだけをPC移動検知の対象から外す事により、不用なメール通知を無くす ことができます。

特定PCをPC移動検知対象から外すには、「全登録済みPC一覧」画面から当該PCの[編集] ボタンをクリックします。すると、PC情報編集画面が表示されますので、その中の [PC移動監視の対象としない] にチェックマークをつけて、[確定] ボタンを押してください。

情報の編集を の各項目に入:	行ないます。 力後、確定ポタンを押してください。
名称	業務サーバー
IACアドレス	00:11:0C:00:00:00
IPアドレス	192.168.0.50
・C移動監視の 対象 IntraGua	対象としない rdian2 全選択 選択解除

## 11 IntraGuardian2の設定

本ソフトウェアからは、IntraGuardian2 の設定を参照/変更 することもできます。メ ニューから [IntraGuardian2一覧] をクリックして表示される、IntraGuardian2一覧画面 で、設定したい IntraGuardian2 の操作欄に表示されている [設定] ボタンをクリックし ます。[設定] ボタンをクリックすると IntraGuardian2 の設定画面が表示されます。

選 択	名称	IPアドレス	状態	動作モード	DB保存場所	操作	l
	IT事業部	192.168.0.1	Running	保留+排除	IG2 本体	設定編集	

この画面では、上部に IntraGuardian2 の設定メニューが常時表示されます。

IT事業部 - 192.168.0.1
<u> 設置設定   動作設定   通知設定   ユーザー管理   ホスト登録   バックアップ/復元   ファームウェア更新</u>

設定の内容に関しては、IntraGuardian2のスタートアップガイドをご参照ください。

#### 11.1 一括設定

「動作設定」及び「通知設定」の画面には、[全IntraGuardian2を設定] ボタンがありま す。現在の設定を他の全ての IntraGuardian2 にも適用する場合にクリックしてくださ い。

巡回実行間隔(秒) 15	
設定 全 IntraGuardian2 を設定	

#### 11.2 特殊な設定

1ブロードキャストセグメントで 1024台以上の登録済みPC を管理する場合は、 IntraGuardian2 のデータベース保存場所を「IG2 Manager」に変更する必要がありま す。データベース保存場所は、IntraGuardian2 の設定メニューの「設置設定」内にあり ます。

√IntraGuardian2 Manag	erを使用する
データベース保存場所	●IntraGuardian2本体 ○IG2 Manager
設定	

設定を変更する際、以下の確認ダイアログボックスが表示されます。本当に変更する場合 は [OK] ボタンを、操作を取りやめる場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

2	データベース保存場所を変更すると、この IntraGuardian2 の現在のPC登録情報が失われます。 設定を変更してもよろしいですか?

IntraGuardian2 本体	登録済みPCの情報は、IntraGuardian2 本体に保存 されます。登録できる PC の数は 1024 が上限とな ります。
IG2 Manager	IntraGuardian2 が起動するときに、登録済みPC の 情報を本ソフトウェアから取得するようになりま す。登録できる PC の数は 10000 と、大幅に増え ますが、起動時に本ソフトウェアと通信できなかっ た場合、登録済みPCの情報を得ることができなくな ります。

\* データベース保存場所を「IG2 Manager」にした場合、IntraGuardian2 の起動時に何らかの理由で本 ソフトウェアと通信ができないと、IntraGuardian2 は不正PCの検知作業を一時的に停止します。この 際、IntraGuardian2 は数秒毎に本ソフトウェアとの通信を再試行しますが、数回に渡って通信失敗が 続くと、通信再試行の間隔は数分に延びます。通信に成功して登録済みPC一覧を獲得すると、 IntraGuardian2 は通常の動作に戻ります。

## 12 ファームウェア更新

本ソフトウェアからは、複数の IntraGuardian2 ファームウェアを一括して更新すること が可能です。一括更新を行なう場合は、メニューから「ファームウェア更新」をクリック し、ファームウェア更新画面を表示させます。

ファームウ	ェアファイル選択語	を更 ファイルを選択	ファイルが選択され	ていません
				画面更新
更新対象	名称	IPアドレス	バージョン	状態
	総務	172.16.1.1	2.0.14	Running
	技術1課	172.16.2.1	2.0.14	Running
	技術2課	1.168.0.60	2.0.14	Running
	営業1課	172.16.22.57	2.0.14	Running
	IT事業部	192.168.0.90	2.0.14	Running

- (1) [ファイルを選択 (※)] ボタンをクリックし、あらかじめ製品サポートサイトからダウ ンロードしておいた、IntraGuardian2 の更新ファームウェアを選択します。
- \* Internet Explorer の場合には [参照] 、Firefox の場合には [選択] となります。
- (2) 更新対象の IntraGuardian2 のチェックボックスにチェックを入れます。
- (3) 今すぐ更新する場合は、[今すぐ更新] ボタンを、更新を予約する場合は、[更新予約] ボタンをクリックします。
- \* 更新予約をした場合、バックグラウンドで定期的に IntraGuardian2 のバージョンが確認され、選択さ れたファームウェアファイルと異なる場合にはリモートバージョンアップを実行します。本画面を開 きっぱなしにしておく必要はありません。

IntraGuardian2 のカーネル(OS)のバージョンアップを行なう場合には、ファームウェア ファイルとしてカーネル用のファイルを選択してください。

\* カーネルのバージョンアップは更新予約をする事ができません。「今すぐ更新」で更新してください。

IntraGuardian2 Manager スタートアップガイド

## 13 バックアップ/復元

複数の IntraGuardian2 の基本設定や登録済みPC一覧を一斉にバックアップ / 復元する 場合や、本ソフトウェアの設定をバックアップ / 復元する場合には、メニューから [バッ クアップ/復元] をクリックし、バックアップ/復元 画面を表示させます。

\* 個別の IntraGuardian2 のバックアップ作業を行なう画面は、「11 IntraGuardian2 の設定」で説明 した画面内にあります。

バックア	ップ/復元
対象	基本設定
操作	<ul> <li>○バックアップ</li> <li>○復元</li> <li>○復元ファイルチェック</li> </ul>
ファイル	ファイルを選択 ファイルが選…ていません
<b>対象 Intr</b> □ IT事業	aGuardian2 全選択 選択解除 部 □ 小平事業所
実行	

- (1)操作の対象 ([基本設定] / [登録済みPC一覧] / [Manager設定]) をリストから選択しま す。
- (2)実行したい内容にあわせて操作 ([バックアップ] / [復元] / [復元ファイルチェック]) を 選択します。
- (3) 復元を実行する場合には [ファイルを選択 (※) ] ボタンをクリックし、あらかじめ バックアップしておいたファイルを選択します。
- \* Internet Explorer の場合には [参照]、Firefox の場合には [選択] となります。
- (4)操作の対象にて [基本設定] / [登録済みPC一覧] を選択した場合は、対象とする IntraGuardian2 にチェックを入れます。
- (5) [実行] ボタンをクリックすると、バックアップ / 復元 を実行します。操作にて [バッ クアップ] を選択した場合、バックアップファイルのダウンロードが開始され、[復元] を選択した場合は、バックアップファイルからの復元が開始されます。
- \* IntraGuardian2 の基本設定と登録済みPC一覧のバックアップでダウンロードされるファイルは、 IntraGuardian2 単体のバックアップ操作でダウンロードされるファイルをZIPフォーマットで結合・圧 縮したものです。

- \* ".zip"拡張子のファイルを自動的に展開する機能を持つブラウザをお使いの場合、自動展開機能をオフ にしてください。
- \* 工場出荷状態の IntraGuardian2 は、IPアドレスが初期状態の"192.168.100.1"で、「IG2 Manager を使用しない」という設定になっているため、基本設定の復元を含め、Managerとの通信は一切でき ないようになっています。IntraGuardian2を交換する際には、IntraGuardian2 スタートアップガイド の記述に従って、IntraGuardian2 本体のWeb管理画面を使って基本設定を行なってください。

## 14 Manager設定

IntraGuardian2 が正常に動作しているかの確認(生存確認)の設定や、PC を登録する際の 動作を変更することができます。

Manager 設定 を行なう場合は、メニューから [Manager設定] をクリックし、Manager 設定画面を表示します。

#### 14.1 生存確認

確認設定	
IntraGuardian2	5
土仔细的间隔(万)	30
PC移動確認間隔(分)	* 0を指定するとPC移動確認処理を行ないません。

IntraGuardian2	IntraGuardian2 が正常に動作しているか確認する間
生存確認間隔(分)	隔を指定します。
PC移動確認間隔(分)	IntraGuardian2 管理セグメント間でPCの移動が あったかどうかを確認する時間間隔です。 Oを指定するとPC移動検知を行ないません。

#### 14.2 通知設定

IntraGuardian2 が正常に動作していなかった場合の通知メールの宛先などを指定します。

宛先	
SMTPサーバ	heno.kappa
ポート番号	25
送信元	abc@abc.co.jp
認証方式	●なし ○POP before SMTP ○SMTP-AUTH
メールの件名 (IG死活監視用)	[IG Manager]
メールの件名	【IntraGuardian2 Manager】PC移動検出

宛先	送信先のメールアドレスです。 ここを空欄にすると、本ソフトウェアからのメール 通知は行ないません。
----	---

SMTPサーバ	メール送信サーバのホスト名またはIPアドレスです。
ポート番号	メール送信サーバ上の送信用ポート番号です。通 常、25か587です。
送信元	通知メールの From: ヘッダになるメールアドレスで す。
認証方式	メール送信サーバでの送信認証方式です。なし / POP before SMTP / SMTP-AUTH のいずれかを選 んでください。POP before SMTP か SMTP- AUTHを選択した場合には、詳細情報も入力してく ださい。
メールの件名 (IG死活監視用)	IntraGuardian2 と通信できなくなったときに送られ る通知メールの Subject: ヘッダになる文字列です。 日本語も使用できます。
メールの件名 (PC移動監視用)	異なる IntraGuardian2 管理セグメント間でPCが移動した事を検知したときに送られる通知メールの Subject: ヘッダになる文字列です。 日本語も使用できます。

### 14.3 その他の設定

端末登録モード	<ul> <li>●個別登録</li> <li>○一括登録</li> </ul>
最大表示件数	1000
ログインセッションタイムアウト	(分) 30
設定	

端末登録モード	<ul> <li>複数の IntraGuardian2 に同一の PC データを適用 する場合は [一括登録]、個別のデータを用いる場合 は [個別登録] を選択します。</li> <li>* 一括登録を選択した場合には、登録されている全ての IntraGuardian2 は自動的に「データベース保存場所 = IG2 Manager」に切り替わります。</li> </ul>
---------	--

最大表示件数	全登録済みPC一覧/全不正接続PC一覧/全検知履歴 で、一度に表示できる最大件数を設定します。 * 1行に複数件数の情報を表示する事ができる画面の場合、 ここで指定した件数は行数の意味になります。
ログインセッションタイム アウト(分)	<ul> <li>操作を行なわない状態が続いた場合にログアウトするまでの時間を設定します。</li> <li>* 無操作状態がここで指定した時間続いた時点で画面が自動的に切り替わるわけではありません。次に操作しようとしたときにセッションがタイムアウトしたという表示が出て、ログインからやり直す事になります。</li> </ul>

\* 端末登録モードを個別登録から一括登録に切り替える際に、IntraGuardian2 と通信ができない状態に ある場合には、「データベース保存場所」が正しく切り替わりません。個別の IntraGuardian2 の設置 設定画面を開き、設定保存をやり直してください。

## 15 パスワード設定

管理画面へログインする際に入力するパスワードを変更する事が可能です。

メニューから [パスワード設定] をクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「新しいパスワード」および「再入力」に新しいパスワードを入力後、[確定] ボタンをクリックすることで、パスワードが変更できます。

なお、ユーザー名"admin"でログインしているときには"admin"用のパスワードが、ユー ザー名"user"でログインしているときには"user"用のパスワードが変更されます。

新しいパスワード	6文字以上12以内の半角英数記号を入力します
再入力	入力ミスを防止するために、上記の新しいパスワードを再 度入力します

パスワード設定
パスワードの変更を行います。 新しいパスワードを入力後、確定ボタンをクリックして下さ い。
新しいパスワード
設定

パスワードの変更に成功すると、以下のメッセージが表示されます。

パスワード設定	
パスワードを変更しました	

# 16 ログアウト

メニューから [ログアウト] をクリックすることで管理画面からログアウトできます。 ログアウトに成功すると以下の画面が表示され、[了解] ボタンをクリックすることで、ロ グイン画面に戻ることができます。



## 17 アップグレードとアンインストール

IntraGuardian2 Manager を以前のバージョンからアップグレードする場合には、まず 旧バージョンの Manager をアンインストールしてから、新バージョンをインストールし ます。

### 17.1 旧 Managerのアンインストール

- (1) IntraGuardian2 Manager の管理画面にログインします。
- (2)メニューの [バックアップ/復元] をクリックし、「対象」は「Manager設定」を、「操作」は「バックアップ」を選択します。
- (3) [実行] ボタンをクリックすると、ブラウザに Manager設
   定ファイル (igmanager-xxxxxxx.zip) が送られるので、
   それを保存しておきます。
- (4) バックアップ対象を「基本設定」に変え、「対象 IntraGuardian2」の[全選択] ボタンをクリックします。
- (5)[実行] ボタンをクリックすると、ブラウザに IntraGuardian2 基本設定ファイル (iguardconfxxxxxxx.zip) が送られるので、それを保存しておきま す。
- (6) バックアップ対象を「登録済みPC一覧」に変え、「対象 IntraGuardian2」の [全選択] ボタンをクリックします。
- (7)[実行] ボタンをクリックすると、ブラウザに IntraGuardian2 登録済みPC一覧ファイル (hostdbcsvxxxxxxx.zip) が送られるので、それを保存しておきま す。

討象 🤇	Manager設定
櫐作	<ul> <li>●パックアップ</li> <li>○復元</li> <li>○復元ファイルチェック</li> </ul>
ィル	ファイルを選択 ファイルが選ていません

ックア	ップ/復元
対象	登録済みPC一覧
操作	<ul> <li>●パックアップ</li> <li>○復元</li> <li>○復元ファイルチェック</li> </ul>
ファイル	, ファイルを選択 ファイルが選…ていません
対象 Inti	aGuardian2(全選択)選択解除)
総務	☑ 技術1課 🗹 技術3課 🗹 技術2課 🗹 営業1課
実行	

	/ノ/ 復元				
対象 🔇	基本設定				
操作	<ul> <li>●バックン</li> <li>○復元</li> <li>○復元フ:</li> </ul>	アップ ァイルチェッ	2		
ファイル	(7714	を選択)ファイ	ルが選…ていま	にせん	
対象 Intra	Guardian	2 全選択 (	選択解除		
1 303-352 6	✔ 技術1課	☑ 技術3課	☑ 技術2課	☑ 営業1	課

(8) コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を起動し、「IntraGuardian2 Manager」の欄を選択してから [削除] ボタンをクリックします。

(9) 削除の確認ダイアログが現れますので、[はい] をクリックします。

プログラムの追加と削除 🛛 🔀		
2	コンピュータから IntraGuardian2 Manager を削除しますか?	
_		

(10)OSのバージョンなどによっては、次のウィンドウが表示される事があります。

IntraGuardian2 Manager					
	インストールを続行す 要があります:	るコよ 次のアブリケー	-ションを終了する必		
	lgHealth				
	キャンセル	再試行(图)	無視₽		

IntraGuardian2 Manager 2.0.2以降をアンインストールする場合には、[無視] ボタンをクリックしてください。

IntraGuardian2 Manager 2.0.1をアンインストールする場合には、このウィンドウ はそのままにして、画面右下の「IG」アイコンを右ボタンクリックし、[終了] を選択 します。



その後、先ほどのウィンドウの[再試行]ボタンをクリックしてください。

#### 17.3 新 Manger のインストール

- (1) 【2.2 ファイルの展開】および【2.3 本ソフトウェアのインストール】の手順に 従って、新 Manager をインストールします。
- (2)新 IntraGuardian2 Managerの管理画面にログインします。
- (3) メニューの [バックアップ/復元] をクリックし、「対象」は「Manager設定」を、 「操作」は「復元」を選択します。
- (4)「ファイル」に旧 IntraGuardian2 Manager でバック アップした Manager設定ファイル (igmanagerxxxxxxx.zip) を指定し、[実行] ボタンをクリックしま す。
- (5) 復元対象を「登録済みPC一覧」に変え、「対象IntraGuardian2」の[全選択] ボタンをクリックします。
- (6)「ファイル」に旧 IntraGuardian2 Manager でバック アップした IntraGuardian2 登録済みPC一覧ファイル (hostdbcsv-xxxxxxx.zip)を指定し、[実行] ボタンをク リックします。
- (7) 復 元 対 象 を 「 基 本 設 定 」 に 変 え 、 「 対 象IntraGuardian2」の [全選択] ボタンをクリックします。
- (8)「ファイル」に旧 IntraGuardian2 Manager でバック アップした IntraGuardian2 基本設定ファイル (iguardconf-xxxxxxx.zip)を指定し、[実行] ボタンをク リックします。
- \* 復元する対象の順番は重要です。必ず「Manager設定」「登録済み PC一覧」「基本設定」の順番に復元してください。

ハックアッフノ復元
対象 Manager設定
<ul> <li>○パックアップ</li> <li>操作</li> <li>●復元</li> <li>○復元ファイルチェック</li> </ul>
ファイル (ファイルを選択) [ <sup>1</sup> ] igmanager1030.zip
実行
パックアップ/復元
対象
<ul> <li>○パックアップ 操作</li> <li>②復元</li> <li>○復元ファイルチェック</li> </ul>
ファイル (ファイルを選択) โ hostdbcsv90729.zip
対象 IntraGuardian2         全選択)         選択解除)
実行
パックアップ/復元
対象
<ul> <li>○パッジアッジ</li> <li>操作 ●復元</li> <li>○復元ファイルチェック</li> </ul>
ファイル ファイルを選択) <sup>[†</sup> ] iguardcon90729.zip
対象 IntraGuardian2 (全選択) (選択解除)     「総務 ● 技術1課 ● 技術3課 ● 技術2課 ● 営業1課
実行

IntraGuardian2 Manager スタートアップガイド 第5版 Version 2.0.6用 2010年3月10日

開発元 日本シー・エー・ディー株式会社 〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-1 CADビル http://www.ncad.co.jp